

町と広報のあゆみ

- ・昭和30年3月 山田町、船越村、織笠村、大沢村、豊間根村の1町4村が合併し、新山田町が誕生。
- ・30年5月 広報やまだ創刊号を発行。タブロイド版4頁。
- ・35年5月 チリ地震津波発生。
- ・37年4月 陸中山田駅が改築落成。
- ・40年1月 県立山田病院が完成。
- ・41年1月 紙面サイズをB5版に変更。
- ・42年9月 山田魚市場改築落成。
- ・42年12月 山田中学校新校舎へ移転。
- ・43年5月 十勝沖地震津波発生。
- ・44年3月 国道45号織笠大橋が完成。
- ・45年11月 町章を制定。
- ・49年8月 山田町役場新庁舎が完成。
- ・50年10月 山田町合併20周年、町民憲章、町の花木鳥「はまなす」「すぎ」「うみねこ」を制定。
- ・55年7月 本町出身の鈴木善幸衆議院議員が第70代内閣総理大臣に就任。
- ・56年10月 創刊号から300号までを収録した縮刷版を発行。
- ・58年10月 広報の発行が月2回（1日号と15日号）になる。
- ・59年1月 1日号が2色刷りに変更。
- ・60年10月 山田町合併30周年。
- ・61年6月 船越家族旅行村がオープン「町民登場」コーナーが始まる。これまでに127人が登場。



広報やまだ創刊号



広報やまだ100号

広報やまだ 創刊 1000号

町民と行政つなぐパイプ役

より身近に感じる情報紙を目指して

皆さんに支えられて

昭和30年5月20日に創刊号が発行されてから57年。「広報やまだ」が今号で1000号を迎えました。皆さんの温かいご理解と協力に支えられながら、町民の皆さんと行政をつなぐパイプ役として町の動きや情報、話題などを伝えてきました。

これまで時代の流れとともに紙面のスタイルは大きく変わってきました。タブロイド判からB5判へ、さらに平成7年4月からは現在のA4判に変更。色も一色刷り（黒）から、一日号が二色刷り（黒と色一色）へ、さらに平成15年からは表紙と裏表紙がカラー刷りとなりました。また、ページ数や取り扱う内容なども時代に合わせた構成となっています。

広報は、町の動きや身近な出来事などを町民の皆さんに正確

に伝える役割と町民の皆さんが持っている意見や要望をくみ取る公聴の役割があります。また、時代の様子を後世に伝えるため、町の歴史を記録し保存することも大切な役割です。

広報紙はこのような役割を担っていますが、話題豊富な紙面を構成するためには、皆さんからの情報が大切になります。「わたしたちの地区でこんなことをしています」「〇〇さんは、こんなことに一生懸命取り組んでいます」「珍しい物を見つけました」など、お気軽に情報をお寄せください。今後も「町づくりの主役は町民の皆さん一人一人」をモットーに、より身近に感じられる情報紙を目指して、町の動きや話題などを皆さんのお手元にお届けします。

◆情報提供先・問い合わせ 町

総務課情報係（☎8213111 内線417）へどうぞ。

広報やまだへ一言



朗読ボランティア代表
佐々木 啓子さん
(織笠・64)

山田のことを知るにはやっぱり広報やまだが一番ですね。「町のわだい」では、写真などでそのときの様子が分かり、読んでいて楽しいです。難しい言葉などがあるので、表現を変えるなど誰にでも分かるようにすればもっと読みやすくなると思います。



佐々木 茉祐さん
(山田南小6年)

いつも好きなキャラクターやかわいい絵が載っている「みんなのスペース」を一番初めて見ました。表紙も季節に合っているものが多く、一目で何月号か分かるのも魅力だと思います。すごい特技を持っている人など、明るい話題をたくさん載せてほしいです。



合併50周年を記念して発行された特集号（854号）



記憶・記録を後世に残し伝える役割を担います（984号）



全国広報コンクールに入選した広報やまだ712号



「さわやかさん」が「フレッシュウーマン」(536号)

- ・63年5月 全国広報コンクール町村1部で入選2席(422号)。同年8月「健やか赤ちゃん登場」がスタート。現在の「1歳になりました」を含め、今号までに4,043人が登場。
- ・平成4年7月 鯨と海の科学館がオープン。
- ・4年8月 「フレッシュマン・ウーマン登場」がスタート。以前の「頑張るマン・さわやかさん」を含め、これまで309人が登場。
- ・5年12月 301号から551号まで収録の縮刷版を発行。
- ・7年4月 山田消防署庁舎が完成。紙面サイズをA4版に変更(600号)。
- ・11年4月 全国広報コンクール町村1部で入選7席(688号)。
- ・12年4月 全国広報コンクール町村1部で入選8席(712号)。
- ・14年8月 三陸縦貫道自動車道「山田道路」が開通
- ・15年4月 1日号の表紙と裏表紙をカラー刷りに変更、「元気なじいちゃん・ばあちゃん」「ぼくのゆめ・わたしのゆめ」「まちで出会ったかわいい笑顔」がスタート。
- ・16年7月 山田町名誉町民の鈴木善幸元内閣総理大臣が逝去。
- ・16年8月 15日号を「お知らせ版」に変更。
- ・17年10月 山田町合併50周年記念式典を開催。広報やまだ合併50周年記念号を発行。
- ・18年11月 県立山田病院が移転開院。
- ・20年4月 「キッチンスタジオハーモニー」がスタート。
- ・22年2月 チリ地震津波発生。
- ・23年3月 東日本大震災発生。津波、火災により壊滅的な被害を受ける。震災特別号を6号まで発行。
- ・23年9月 広報やまだ9月1日号震災特集号で通常版の発行を再開。